

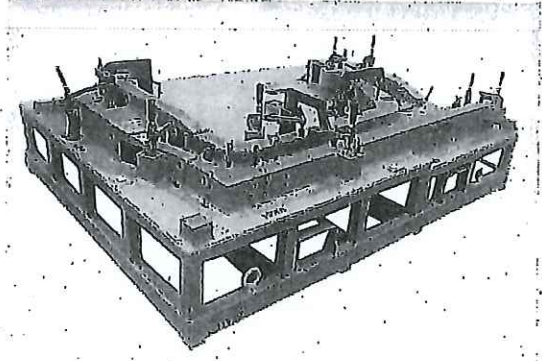
神奈川県ビジネス

# 検査治具スピード供給

同業他社とネットワークを結び、自動車部品メーカーに検査治具を素早く提供  
 する取り組みが神奈川県から中部、広島、九州、さらには中国、韓国に広がっている。  
 KYOEI（神奈川県綾瀬市、0467・76・1118）を中心に約20社で構成する「検具 net」で、地域間連携で顧客の要望に迅速に対応する試み。  
 KYOEIの高崎将一社長は「中小製造業でも顧客の要望をかなえるサービスが必要だ」と訴える。

検査治具は自動車部品の3次元物差しで、主にプレスで起こされた自動車部品を型にセットし、寸法精度を計測する。一見するとシオラマのような溝に自動車部品を重ね合わせることで、縦横高さ・厚さを即座に計測できる。材質は強度によって変わり木材、樹脂、スチールなどを組み合わせて製作

## 綾瀬市の中小が呼びかけ



（横浜・川口拓洋）

「検具 net」が手がける検査治具

## 車部品向け、地域間連携

する。

### 九州からの相談

検査治具は車種や部品ごとに、自動車部品メーカーのニーズを聞きながら製作する一品物。手間とコストがかかり、手がける企業は少ない。しかも、大手自動車メーカーが九州やアジアなどに生産拠点を分散させた結果、検査治具の製造集積地から離れた。九州の部品メーカーから検査治具をどこに発注すればいいかわからず、困

らない。しかも、大手自動車メーカーが九州やアジアなどに生産拠点を分散させた結果、検査治具の製造集積地から離れた。九州の部品メーカーから検査治具をどこに発注すればいいかわからず、困

能にし、物流時間の短縮化と即納化を実現。また自社だけでは対応できない仕事を他社に回したり、分散させたリするなど柔軟な顧客対応を可能にした。各地域ごとに幹事会社が音頭を取り、顧客やパートナーの相談窓口になっている。

技術を相互補完  
 同ネットに参加する谷藤木型製作所（神奈川県綾瀬市、0467・77・5303）は従業員5人と小規模。以前は最大で1200×700mmの治具が限界だった。

「連携企業から技術支援を受け、顧客は企業を探し手間が減った」と谷藤英明社長は成果を話す。

同ネットは対応することが難しい仕事を他の参加企業に振り分け、品質技術の確保や顧客企業との信頼構築に結びつける。KYOEIは同ネット構築で売り上げが毎年約30%伸びている。谷藤木型製作所も売上高が加入前と比べると1.5倍に増えた。

アジアに広がり  
 今後は中国、韓国だけでなくタイやインドネシアなど、近隣アジア地域でメンバーを増やし、ネットワークを拡大する方針だ。高崎社長は「工場見学を実施し、品質の追求と技術の底上げを支援したい。社長の次はスタッフ同士の間も進む」と会員企業のさらなる発展を目指す。



を超えていた。ホウ素 下水道局の三田村浩昭

日刊工業新聞（2015.11/4発行）

KYOEIの取り組みが掲載されました。